

2003年度
ブロック1 (IV期) テュートリアル
課題番号12

ストレスに打ち勝つ

薬理学教室



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることありますのでご注意ください。

シート1

女子医大2年A子さんが、日曜日の朝、眠い目をこすりながら、少し遅い朝食をとっています。A子さんは、B大学医学部4年の兄と話しています。

A子：試験、試験でストレスがたまっているのよね。

兄： 現代社会をたくましく生き抜くためには、ストレスに打ち勝つホルモンが必要なんだって。

A子：突然なによ？

兄： ホルモンが重要なんだ。

A子：くり返さなくたって知っているわよ。そのぐらい。

日曜日なのに、また思い出しちゃったじゃない。試験のことを・・・

シート2

試験が終わってスッキリしたA子さんが、図書館に来ています。A子さんは、前から医学史に興味をもっています。今日も、日曜日の兄との会話を思い出しながら、1冊の本を読み進んでいます。

ストレス研究の元祖 カナダの H. セリエは、
「ネズミにストレスを与えると、これに対処すべく適切な反応を引き起こす。
その最も目立つ変化の1つは、副腎にあらわれる。」
という実験動物の観察にもとづいて、ストレス学説を提唱した。